

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33504	インテリアデザイン Interior Design	村松 尚子	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
インテリアデザインとは主に建築内部における装飾など室内環境全体にかかわるすべてのデザインを言う。この科目では自身の生活空間を豊かにすることを学びながら、インテリアデザインの基礎知識を身に付ける。						
学修内容			到達目標			
① インテリアコーディネートの基礎を学ぶ。 ② 収納とインテリアの関係と学ぶ。 ③ 間取り図を読む力を養い、描き方の基礎を学ぶ。 ④ 一人暮らしを想定し、必要なエレメントを選定、レイアウトをしたプレゼンボードを作成する。			① インテリアコーディネートに必要な要素を説明できる。 ② デザインと機能を備えた空間を創造できる。 ③ 間取り図を見て空間を推測できる。 ④ 学修した内容を踏まえ自身の居住空間のデザインを創出できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験することで自己学修することができる。				
	働きかけ力	わからないときに相談することができる。				
	実行力	課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。				
考え抜く力	課題発見力	人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。				
	計画力	期限内に作品を完成させることができる。				
	創造力	他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	相手に伝える工夫をして発表できる。				
	傾聴力	相手の話を素直に聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	予習、復習を行い、積極的に講義に参加することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし。必要に応じて資料を配布する。 参考文献:授業内で適宜紹介していく。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:インテリアエレメント 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
プレゼンボードを作成するための材料費が1,000円程度必要。 普段から室内を意識して観察をする(予習、復習)と、楽しい発見があります。			普段から興味を持って生活空間を観察すること。 メジャーを持参すること。 ※初回授業にて説明をする。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	10	①	✓	・第7週（予習）「自宅の部屋の図をかく」 完成度、上手さは求めない。挑戦する。 ・第9週（予習）「片づけられない原因を考える」 自分の意見をまとめる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	・人にわかりやすく伝える工夫ができる。 ・人前で発表する姿勢を考えて発表ができる。 ・成果発表の事前準備ができ、円滑に発表ができる。
		②		
		③		
		④		
作品	50	②	✓	・インテリアコーディネートができています。 ・学修内容を踏まえた家具配置ができています。 ・間取り図を的確に把握できている。 ・作品が完成されている。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 必要な知識・考え方について、教科書・文献などで調べたり、体験 することで自己学修をすることができる。 (実行力) 課題の作成にあたり、積極的に情報収集ができる。 (課題発見力) 人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。 (創造力) 他者の意見にとらわれることなく、物事を考えることができる。 (発信力) 相手に伝える工夫をして発表できる。 (傾聴力) 相手の話を素直に聞くことができる。 (規律性) 予習、復習を行い、積極的に講義に参加することができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：成果発表において人を惹きつける発表ができる。 作品の完成度が高く、独創性がある。 自身をよく理解し生活を創造できる作品である。 図面で空間を的確に表現することができる。 予習、復習に積極的に取り組んでいる。 A：成果発表において人にわかりやすく伝えられる。 作品の完成度が高く丁寧に仕上げられている。 図面で空間を表現することができる。 予習、復習に積極的に取り組んでいる。	B：成果発表において人に分かりやすく伝える工夫が感じられる。 作品の完成度が高い。 図面を読み取ることができる。 予習、復習ができています。 C：成果発表を人前で終えることができる。 作品を完成させている。 図面をある程度読み取ることができる。 予習、復習ができています。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	実例インテリアの画像説明、課題説明、関連資格と職業の紹介	講義	インテリアを構成する要素の概要を説明できる。	(復習)好みのインテリアの情報収集をする。	45	主体性 傾聴力
2週 /	日本と西洋のインテリアの歴史とトレンドを学ぶ	講義	日本と西洋のインテリアの歴史からインテリアのデザインを認識できる。	(予習)インテリアのデザインを観察する。	45	主体性 実行力 傾聴力
3週 /	インテリアの色彩計画の基礎を学ぶ。	講義	インテリアと色彩の関係を理解できる。			主体性 傾聴力
4週 /	住宅内の各空間の特徴と演出方法を考える	講義	各空間の役割を考慮した空間の演出方法を検討できる。	(予習)室内の演出事例の写真を集める。	45	主体性 課題発見力
5週 /	照明による空間の演出方法を学ぶ	講義	照明による演出方法の認識を持つことができる。	(復習)様々な空間の照明を観察する。	45	主体性 創造力 傾聴力
6週 /	人間工学の基礎についてメジャーを用いて計測し学ぶ	講義	人間工学から、空間・モノを把握し体感できる。	(復習)自宅の家具を計測し、どのようなサイズか考察する。	45	主体性 実行力 傾聴力
7週 /	インテリアを表現する図面の見方を理解する。	講義	図面を見て空間を想像することができる。	(予習)自宅の部屋を観察し、説明できるような図をかく。	45	主体性 実行力 傾聴力
8週 /	住宅内の各空間に必要なインテリアエレメントと家具のレイアウトについて学ぶ。	講義	間取り図に家具を配置することができる。	(予習)広告等で間取り図を集める。	45	主体性 想像力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	収納とインテリアの関係を学ぶ	講義	収納を通して生活とインテリアの関係、重要性を発見できる。	(復習)生活の中で片付けられない原因を考察する。	45	主体性 課題発見力
10週 /	図面作成実習 簡単な図面を作成する。 プレゼンボード課題説明。	講義	簡単な間取り図を作成することができる。	(復習)未完了の練習課題を完成させる。	90	主体性 規律性 傾聴力
11週 /	プレゼンボード作成実習—1 一人暮らしを想定し理想の間取りとエレメントを選定する。	実習、作業中助言	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。	(予習) 課題に必要な資料を集める。	45	主体性 創造力 実行力
12週 /	プレゼンボード作成実習—2 室内のレイアウトと演出方法を検討する。	実習、作業中助言	前週までを踏まえ、アイデアを展開できる。	(予習) 課題に必要な資料を集める。	45	主体性 創造力 実行力
13週 /	プレゼンボード作成実習—3 発表できるようにプレゼンボードを作成する。	実習、作業中助言	プレゼンボードに作品をまとめ、完成させることができる。	(復習)未完了の課題を完成させる。	45	主体性 創造力 実行力
14週 /	プレゼンテーション 1 作品発表をする。	作品説明、講評	他学生の作品の鑑賞を通して自作の課題を発見できる。	(予習)発表できる準備をする。	90	規律性 発信力 傾聴力
15週 /	プレゼンテーション 2 作品発表をする。 授業内容を振り返る。	作品説明、講評	他学生の作品の鑑賞を通して自作の課題を発見できる。	(復習)授業内容を振り返る。		規律性 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力